

# 平成22年度総会開催!

6月30日、中村商工会議所において平成22年度総会が開催されました。

はじめに、事務局から平成21年度の取り組み概要報告があり、続いて澤田佳長先生から秋から冬にかけて行われたツルの行動・環境体系調査の結果が説明されました。

22年度の事業については、「セブン-イレブンみどりの基金」の継続プロジェクト助成や国土交通省の協力を得ながら、これまでの取り組みを継続して実施するほか、「四万十つるの里祭り」を今年度も開催すること、また先進地視察として、行政が積極的にツル保護活動に取り組んでいる佐賀県伊万里市を訪問することなどが決まりました。



多和博嗣会長の挨拶。  
昨年度初めて開催し、好評だった「四万十つるの里祭り」について触れ、会員の皆様の協力に対して感謝の意が述べられました。



36名が参加



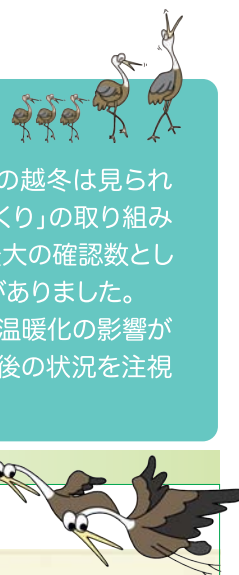
国土交通省の事業説明。  
今後も河川環境の保全・再生の面から「ツルの里づくり」にご協力いただけるとのことです!

## 澤田先生のツルの調査結果報告



平成21年度は、残念ながら四万十市でのツルの越冬は見られませんでした。地元の方々にも「ツルの里づくり」の取り組みが浸透し、確認情報は都度寄せられました。最大の確認数としては、約30羽が森沢付近へ降りたという情報がありました。

近年、飛来・越冬数が減少している理由としては、温暖化の影響が指摘されています。実際に夏鳥の飛来にもその影響が見られ、今後の状況を注視したいと思います。



## つるの 雑記帳 念願かなって…

# 4月に江ノ村地区にツルが来ました!!

4月13日、ナベヅルの幼鳥が1羽、当会でえさ場・ねぐらづくりを行っている江ノ村地区の田に飛来している様子が確認されました。繁殖地の中国東北部やロシア南東部から飛来し、鹿児島県出水市などで越冬した後、北へ帰る途中に迷い降りたものと思われます。幼鳥は25日には無事、北へ飛び立ちました。

当会で整備している場所での飛来確認は初めてのことで、メンバーにとっても地域にとっても大変うれしいニュースとなりました!



確認されたナベヅルの幼鳥  
(澤田佳長氏撮影)

## ツルを見かけたら お願い



四万十川および中筋川流域で見られるツルは野鳥です。非常に用心深く常にあたりを警戒しています。特に光や物音に敏感で、一度飛び立つと遠くに飛び去ってしまい1羽も見られなくなります。自然のままのツルの生活をおびやかさないように、静かに遠くから見守って下さい。

## 四万十つるだよりに関するお問合せ

### 四万十つるの里づくりの会事務局

〒787-0029 高知県四万十市中村小姓町46 中村商工会議所内  
tel: 0880-34-4333 / fax: 0880-34-1451  
mail: naka10@cciweb.or.jp

## セブン-イレブンみどりの基金

一般財団法人 セブン-イレブン 記念財団 この会報は、2010年度一般財団法人セブン-イレブン記念財団の公募助成を受けています。

# 四万十 つるだより

人と自然の共生する「ツルの里」をめざして

Vol.10 ●発行日/平成22年8月25日 ●発行/四万十つるの里づくりの会  
<http://www.shimanto-tsuru.com>

※「四万十つるだより」内のツル類の写真の一部は、澤田佳長氏(野生生物環境研究センター所長)よりご提供いただいております。

# 子どもたちに「ツルの里づくり」を紹介しました! 平成22年度第1回ツルの自然体験学習会

7月15日、「ツルの自然体験学習会」を開催し、講義とモミ撒きによるえさ場づくりを通じて、地元の小中学生に「ツルの里づくり」を紹介しました。

講義では、ツル飛来の歴史や当会の活動内容などについて写真やリーフレットを用いて紹介し、鳥類の専門家 澤田佳長先生(野生生物環境研究センター所長)から「中筋川流域にはたくさんの種類の鳥が生息しており、非常によい環境ですが、休耕田が増えています。草刈りや水田耕作などによってツルが安心できる見晴らしのよい場所を確保することがツルを呼ぶ鍵になります」と地域ぐるみでの取り組みの必要性を呼びかけました。その後、国土交通省が「四万十川自然再生事業(ツルの里づくり)」で湿地再生を行っている中山地区へ移動し、全員でモミ撒きを行いました。

学習会は学校行事にも位置づけられるなど毎年恒例のイベントとなっており、子どもたちを通じて地域の多くの皆さんに活動を知っていただくことにつながっています。一人でも多くの子どもが「未来のツル保護人」として育ってくれるよう、今後も継続的に実施していきたいと思っています。



懸命に手を振り上げてモミを撒く子どもたち



スライドを用いた学習の様子



秋から冬にえさ場に設置するデコイ(ツルを呼び寄せるための模型)についても紹介

秋には  
たくさん実って、  
よいえさ場になって  
欲しいです!



たくさんのメディアが取材に訪れました



モミは、順調に育てば10月末頃までには実り、秋から冬に飛来するツルの餌となります。